

● 日本の主な火山活動

口永良部島では、3日に新岳で噴火が発生した。新岳火口から概ね2kmの範囲で噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要なことから、同日、火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを3（入山規制）に上げた。また、マグマが関与した噴火が発生した場合、火砕流にも警戒が必要なことから、7日に火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）を切り替え、警戒が必要な範囲を拡大した。

桜島では、爆発的噴火が発生するなど活発な噴火活動が継続した。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しており、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

西之島では、海上保安庁等の観測によると、噴火及び溶岩の流出が継続し新たに形成された陸地の拡大が確認されている。西之島の中心から概ね6km以内の範囲では噴火に警戒が必要である。

草津白根山では、3月上旬から湯釜付近及びその南側を震源とする火山性地震が増加するなど、火山活動の活発化を示すデータが引き続き観測されている。湯釜火口から概ね1kmの範囲では、小規模な噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

阿蘇山では、30日に中岳第一火口で噴火が発生し、火山活動が高まった状態となっていることから、同日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを2（火口周辺規制）に上げた。中岳第一火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

霧島山（新燃岳）では、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張を示す地殻変動は、2011年12月以降鈍化・停滞していたが、2013年12月頃から伸びの傾向がみられる。また、新燃岳に隣接する韓国岳周辺では、2014年2月頃から地震がわずかに増加している。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しており、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

諏訪之瀬島では、28日以降、断続的に噴火が発生した。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しており、火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

蔵王山では、6日から10日にかけて火山性微動が3回発生し、6日の火山性微動発生直後から火山性地震も一時的に増加した。ただちに噴火する兆候は認められないが、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

表1 8月31日現在の火山現象に関する特別警報・警報・予報等の発表状況
(※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中)

特別警報・警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	桜島、口永良部島
	入山危険	西之島※
	レベル2（火口周辺規制）	草津白根山、三宅島、阿蘇山、霧島山（新燃岳）、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、雲仙岳、霧島山(御鉢)、薩摩硫黄島
	平常	上記以外の活火山

*噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 8 月 31 日現在、火山現象に関する特別警報、警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 26 年 8 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報		概要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	降灰予報	27 日 10 時 12 分、 31 日 08 時 42 分、 15 時 25 分、 15 時 32 分、 18 時 40 分	噴火に伴い、降灰が予想される地域を発表。
		解説情報第 61 号～69 号	1 日、4 日、8 日、 11 日、15 日、18 日、 22 日、25 日、29 日 16 時 00 分	爆発的噴火による大きな噴石の飛散状況。その他、地震回数等火山活動の状況。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	火口周辺警報	3 日 12 時 50 分、	3 日 12 時 24 分に噴火が発生。今後、噴火活動がさらに活発となる可能性があり、火口から概ね 2 km の範囲に影響を及ぼす噴火の発生が予想されることから、噴火警戒レベルを 1（平常）から 3（入山規制）へ引き上げ。
		解説情報第 1 号	3 日 14 時 30 分	
		火山活動解説資料	3 日 16 時 30 分 5 日、6 日 21 時 00 分 15 日 16 時 00 分	
		火口周辺警報	7 日 10 時 00 分	火口周辺警報（入山危険）を切り替え、火砕流への警戒範囲を明示。
		火山活動解説資料	7 日 11 時 00 分	
		解説情報第 6 号	7 日 16 時 00 分	
		解説情報第 2 号、11 号、 16 号、17 号、23 号	3 日 20 時 00 分、 13 日、20 日、21 日、 29 日 16 時 00 分	上空からの観測、現地調査の結果。その他、地震回数等火山活動の状況。
解説情報第 3～5 号、8 ～10 号、12～15 号、18 ～22 号	4 日～6 日、8 日、 11 日、12 日、14 日、 15 日、18 日、19 日、 22 日、27 日、28 日 16 時 00 分	噴煙・地震回数等火山活動の状況。		

口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報第 7 号	8 日 14 時 40 分	火山噴火予知連絡会拡大幹事会による見解。
草津白根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報第 10 号、12～ 15 号	1 日、8 日、15 日、 22 日、29 日 16 時 00 分	地震回数等火山活動の状況。
		解説情報第 11 号	5 日 08 時 00 分	4 日 17 時頃からの火山性地震増加の状況。
		火山活動解説資料	6 日 11 時 10 分	火山性地震は 5 日 22 時以降減少。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	30 日 09 時 40 分	30 日に噴火を確認。中岳第一火口から概ね 1 km の範囲に影響を及ぼす噴火の発生が予想されることから、噴火警戒レベルを 1 (平常) から 2 (火口周辺規制) へ引上げ。
		解説情報第 24 号	30 日 10 時 30 分	
		火山活動解説資料	30 日 15 時 50 分	
		解説情報第 22 号	4 日 16 時 00 分	28 日に実施した現地調査の状況。土砂噴出と火口底の赤熱を確認。
		解説情報第 23 号、25 号	29 日、31 日 16 時 00 分	孤立型微動と火山性地震の状況。
蔵王山	噴火予報 (平常)	火山活動解説資料	11 日 15 時 00 分	6 日から 10 日にかけて発生した火山性微動と火山性地震増加の状況。

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

この他、三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。